

平成27年度さくら写真コンクール入賞作品選評

「総評」

今年の応募作品は、

「静岡県内の桜部門」	594点	(前年度 672点)
「富士山と桜部門」	159点	(前年度 295点)
合計	753点	(前年度 967点)

今年度は、桜の開花時期も例年並で天候にも恵まれた日が続き、撮影条件も良かったものと思います。応募作品の内容を見ますと、全体的にレベルも高く、作者の撮影に対する熱意が伝わってくる素晴らしい作品が多く見受けられ、どの作品が上位に入ってもおかしくない状態で選出には苦労致しました。

特に、最優秀賞になった作品は、オリジナルな表現に挑戦した作品と言っても過言ではなく、審査する立場の人間としてもこの場所でこんな素晴らしい作品ができるのかと驚きでした。

写真は目の前にある風景、風物を構図や色彩やピントなど、技術的にしっかりと写すことも大切ですが、それだけでなく自分の感情や感性、想像力などを駆使し、独自の作品にまで昇華させ、見る者に感動を与える作品を創ることが一番大切であると思います。

なお、「富士山と桜」部門は、撮影ポイントが決まっています、新鮮味に欠ける作品が多く見受けられますので、斬新な視点での挑戦に今後期待いたします。

	最優秀賞	
	部門	部門共通
	作品名	桜香時雨
	撮影地	葵区駿府城公園
	撮影者	山下 克子 (浜松市南区)
<選評> この作品は、駿府城公園のお堀に映り込む巽櫓と水面に浮かぶ無数の桜の花びらで構成されており、画面を上下逆に見せています。 シャッタースピード 10 秒の超スローシャッターで水面の花びらの流れる動感を出しています。 作者は桜香の時雨を連想しているようですが、お城の上空に広がる満天の星が渦を巻きながら流れており、遠い戦国時代へタイムスリップしていく様な壮大な物語を連想させてくれる写真と見るのはどうでしょうか、見る者にいろいろな想像をさせてくれる写真こそ、素晴らしい作品だと思います。		

「静岡県内の桜」部門



特選

作品名	黄金のさくら
撮影地	西伊豆町黄金崎
撮影者	遠藤 泰弘 (伊東市)

<選評>
西伊豆町黄金崎の桜です。
夕日に輝く黄金崎の岩肌と前面のあふれるばかりの桜の花は迫力のある作品になっています。
桜の花もまさに満開の一番きれいな時期の撮影で斜光線により奥行き感もしっかりと出ている力強い風景写真です。
日影となった桜の花を明るく仕上げたことも作者の力量を感じる作品です。



準特選

作品名	春の反射炉
撮影地	伊豆の国市
撮影者	深沢 真 (下田市)

<選評>
今話題の韮山の反射炉と桜を組み合わせています。
天候も良く青空が桜の花と反射炉の建造物をくっきりと浮かび上がらせて明確な作品になっています。
写真は、その時代の記録性も重要な要素であり、作者の写真に対する姿勢も共感できます。



準特選

作品名	月夜桜
撮影地	賀茂郡松崎町
撮影者	藤井 昭浩 (賀茂郡松崎町)

<選評>
作者の地元的那珂川の風景でしょうか、風もない暖かな春の宵、ライトアップされた川岸の桜、そして夜空に浮かぶ月と水面に映る二つの月が美しく、いつまでも眺めていたい気持ちにさせてくれます。この時間帯と天候状態のチャンスをものにした素晴らしい作品です。

「富士山と桜」部門

	特 選	
	作品名	桜 の 彩 り
	撮影地	沼津市井田
	撮影者	筒井 章 (伊東市)
<p><選評> 駿河湾を挟んだ西伊豆井田から撮影の作品です。 撮影条件もよく富士と桜両方にピントを合わせた完璧な風景写真です。 前面の桜のボリューム感も力強く、海の入れ方から富士の位置など画面構成、発色、撮影技術も素晴らしい作品です</p>		
	準特選	
	作品名	桜花爛漫
	撮影地	富士宮市
	撮影者	市村 廣一 (富士市)
<p><選評> 満開の枝垂桜と雪の富士山、この作品も撮影条件、撮影技術も言うことなしの素晴らしい作品です。</p>		
	準特選	
	作品名	桜花春彩
	撮影地	富士宮市 朝霧霊園
	撮影者	岡本 芳隆 (神奈川県横須賀市)
<p><選評> オーソドックスな画面構成であるが、前面の桜と黄色の花、ブルーの富士山と空の色が調和した配色が、春らしい雰囲気をよく出しています。</p>		



特別賞（道路利用者会議会長賞）

作品名 ループ橋の下に咲く

撮影地 賀茂郡河津町

撮影者 大石 明
(浜松市東区)

<選評>

道路利用者会議会長賞です。
賀茂郡河津町の国道414号線に架かる河津七滝(ななだる)ループ橋、正式名称は「七滝高架橋」です。
ループ橋の下に咲く桜と円形のループ橋で構成されています。カメラアングルも工夫されており、ループ橋の構造も良く分り面白い写真だと思います。



特別賞（天竜浜名湖鉄道社長賞）

作品名 天浜線と桜

撮影地 浜松市北区気賀

撮影者 小松原 清
(浜松市浜北区)

<選評>

今回新設されました天竜浜名湖鉄道社長賞です。
天気もよし、花もよし、電車に乗って出かけたいような気持ちの良い写真になっています。
このままポスターにしても良い作品だと思います。

入 選（静岡県内の桜部門）



作品名	茶の里に咲く
撮影地	川根（牛代）
撮影者	鈴木 隆広

作品名	桜との競演
撮影地	掛川市大須賀
撮影者	石川 金吾



作品名	霧ただよって
撮影地	川根本町
撮影者	滝井 千恵子

作品名	二人の春
撮影地	南伊豆町青野川
撮影者	上野 祐司

入 選（静岡県内の桜部門）



作品名	さくらみち
撮影地	賀茂郡河津町
撮影者	宮田 広志

入 選（富士山と桜部門）



作品名	河津桜と富士
撮影地	富士市浮島
撮影者	飯田 忠雄



作品名	海辺の春
撮影地	沼津市井田
撮影者	佐藤 泰弘

入 選 (富士山と桜部門)



作品名	桜日和	作品名	駿河湾の春
撮影地	富士市龍巖淵	撮影地	黄金崎
撮影者	遠藤 里美	撮影者	加藤 泰平



作品名	龍巖淵の夕暮れ
撮影地	富士市
撮影者	齋藤 公久

コンクールの審査は、四つ切写真での審査を行っております。
本書に掲載している写真は、応募作品のデータですので、応募作品
とは、色調等の相違がありますので、ご了承ください。